



大崎のぶゆき
《Trace Trip, Time Capsule (H.K.) #04》2014年
©Nobuyuki Osaki, courtesy of Yuka Tsuruno Gallery



田中翔貴
《Portrait of zinc》2015年



竹田尚史
《空気になる私》2011年



岡田昭憲
《Little Journey》2015年



144号室 (大崎のぶゆき with 森北伸)
《144号室のためのドローイング》2015年



鈴木智教
《relation portrait (リレーションポートレート)》2009年～



設楽陸
《Rings》2015年



近藤亜樹
《HIKARI》2015年 ©the artist, courtesy ShugoArts



杉浦光
《All Blue -expansion- II》2014年

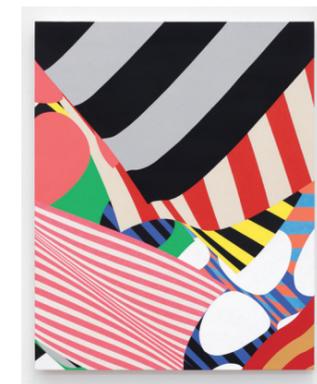
となりの人びと

現代美術 in 春日井

「となりの人びと」とは、よく知っているようで知らない部分もある、家族や同僚・クラスメート、そして、見慣れた風景の「となり」に、新しい知覚や表現の扉を開いていくアーティストたちのことです。「となり」あう関係は、たとえばスマートフォンの向こう側にあるヴァーチャルな世界との関係にもあてはまるのではないのでしょうか。つつい引き込まれるスクリーンの世界は、どこまでが本当でどこからが虚構なのか。

「となり」は、あいちトリエンナーレの主要会場地である名古屋市と春日井市との地理的關係、当展とあいちトリエンナーレ2016(8月～)との時間的關係も示唆しています。過去のあいちトリエンナーレに出品したアーティストの新作を含みつつも、独自に展開されていくこの企画は、あいちトリエンナーレ本体とは「となりあう」関係にあるといえます。

日常生活のとなりの、これまで意識していなかった存在に目を向け、来場者の方々とアーティストと、作品を通じて瞬間的にも良き隣人になる機会となれば幸いです。



今井俊介
《untitled》2014年
©Shunsuke Imai, courtesy of HAGIWARA PROJECTS



渡邊千夏
《BIG MIRROR BOOK II》2015年



鋤柄ふくみ
《ショッピングカート》2015年



村田仁
《蛙の国会、人の町》2015-16年

関連プログラム ※参加費は全て無料です。

01 アーティストワークショップ

鈴木智教
「relation portrait (リレーションポートレート)」
ペアで参加し、カメラのピントがボケている状態から相手だと分かるまでピントを合わせ撮影しましょう。お互いの関係性が視覚的に写し出されます。

会場：文化フォーラム春日井・1F
日時：1月30日(土)、31日(日)、
2月6日(土)、7日(日)、11日(祝)、13日(土)、
14日(日)、20日(土)、21日(日)、27日(土)、28日(日)
11:00-16:00
定員：各日先着20組(2人1組) ※随時受付

02 近藤亜樹作品「HIKARI」上映会

会場：文化フォーラム春日井・視聴覚ホール
日時：2月27日(土) 11:00-16:30

1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目
11:00 -11:30	12:00 -12:30	13:00 -13:30	14:00 -14:30	15:00 -15:30	16:00 -16:30

開場は各回15分前
※完全入替制、途中入場はできません
定員：各回140名

03 創作コーナー「ふしぎなにじ」

渡邊千夏の鏡の絵本に立体的な虹の世界をつくろう。
会場：文化フォーラム春日井・キッズコーナー(1F)
日時：会期中毎日10:00-16:30

04 アーティストトーク

会場：文化フォーラム春日井・ギャラリー
日時：1月30日(土)、2月28日(日)
いずれも14:00-

※アーティストトーク参加作家の情報は、webサイト「あいちアートプログラム」でご確認ください。

05 トークイベント「144号室についてのあれこれ」

大崎のぶゆきと森北伸が、出品作品や本展タイトル「となりの人びと」をキーワードにトークを行います。
会場：文化フォーラム春日井・会議室
日時：2月20日(土) 14:00-15:30(開場は15分前)

06 キュレータートーク

会場：文化フォーラム春日井・ギャラリー
日時：①2月3日(水)、②2月11日(木・祝)
いずれも14:00-

① 鳥羽都子(かすがい市民文化財団)
② 拝野雅彦(あいちトリエンナーレ2016チーフ・キュレーター)